

# 2022年度(令和4年度)の日事連の取り組み 報告(成果の評価)

- 日本建築士事務所協会連合会/BIMと情報環境WG
- 2022.12.9 建築BIM推進会議第9回



# 1. 日事連のBIM普及・教育に対する姿勢

- 第1回BIM推進会議で提示した5策

策1: BIM活用の裾野を広げる(◎)

策2: 建築士事務所の活用能力を高め、積極活用を支援(◎)

策3: BIMの社会的基盤をつくる(＊)

策4: ベンチマークとなるプロジェクトをつくる(＊)

策5: 未達成の社会課題に取り組み、未来社会を先取りする

→ ＊は、国土交通省建築BIM推進会議にて取り組み、あるいは連携。

→ ◎は、現在のBIMの普及状況、日事連会員事務所の約8割が30人以下の事務所である現状に即し、中小事務所に資する普及に関する活動に注力。

## 2. 活動内容

### 【今年度実施】

- BIM活用アイデアコンペティションの開催
- 会誌連載記事にて、BIMの導入経緯や活用事例等の情報を提供
- BIMに関する基礎情報・利用情報などを一元化するBIMポータルサイト「BIM GATE」の運用開始

### 【普及活動】

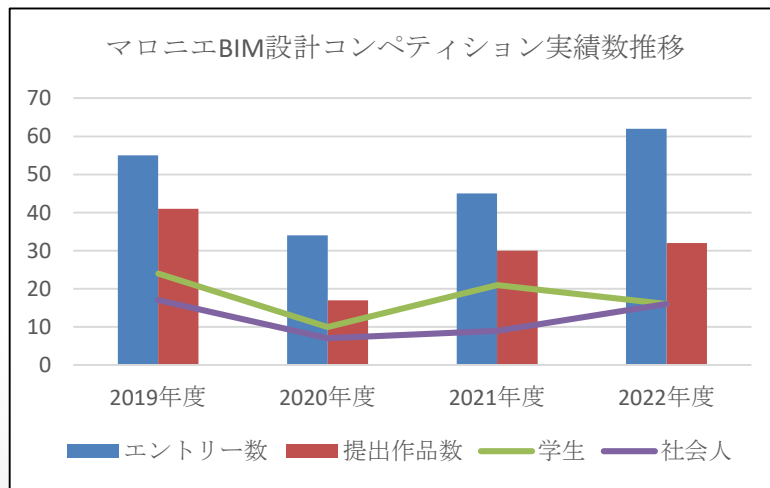
- BIMを導入していない建築士事務所の開設者・管理建築士等に向けて、全国各地でBIMセミナーを実施

### 3. 活動報告:

## BIM活用アイデアコンペティションの開催

BIM利用による設計コンペを主催し、建築士・学生に対し、BIM活用への意欲の喚起、BIM活用能力の向上・積極活用のきっかけとすることを目的に、2014年より開催。

2019年度より、学生だけでなく社会人にも対象を拡大し、毎年開催している。



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
エントリー数	55	34	45	61
提出作品	41	17	30	32
学生	24	10	21	16
社会人	17	7	9	16

# 3. 活動報告： マロニエBIM設計コンペティション2022 in みやぎ

今年度は宮城県で開催し、「青葉山公園に杜の都のスポーツ文化を象徴するBIM活用デザインの提案」をテーマとした。学生・社会人から32案の提出があった。

二次審査は対面とリモートによる9者からプレゼンテーションがあり、上位賞4点と奨励賞5点を選定した。

今年度新たな取り組みとしてグループ参加も可能とし、審査委員に国土交通省・宿本建築指導課長が加わり、最優秀賞に国土交通大臣賞を新設した。

本コンペティションは2014年に始まり、2023年度も継続予定。



マロニエBIM設計コンペ2022 チラシ

# 3. 活動報告: マロニエBIM設計コンペティション2022 in みやぎ



オンライン併用の審査風景：発表者(左手)と審査員団(着席)



藤本壮介氏(審査委員長)による基調講演



最優秀賞(国土交通大臣賞)受賞作品 ふいに「みる」



国土交通大臣賞を受賞した海本氏・梅本氏  
(安井建築設計事務所大阪)

### 3. 活動報告:会誌「日事連」での連載

BIMの普及促進を目的として、最新情報の紹介、基礎知識の提供など、幅広い視点からBIMやAIをめぐる記事を掲載。

2021年5月からは「実践編」として、各地の中小事務所を中心に、BIMの導入経緯や活用事例、BIMを活用した今後の事業展開などの記事を掲載。

2カ月に1度の連載で、現在までに通算21回掲載。

これまではBIM導入の促進を軸に連載していたが、今後はBIMデータの活用やBIMネットワークの活用などデジタル連携まで幅を広げて連載を継続していく。

続

## BIMで変わる、BIMで変わる —BIMをどことん使いこなそう!—

この連載では、建築ジャーナリストの植田一平氏の案内でBIMの最先端の動きを紹介していきます。第2回は、BIMを現場レベルで活用するための組織・人材の整備について、建設現場の現場監督である植田一平氏にインタビューを行いました。今回は、BIMの現場レベルでの活用について、現場監督ならではの視点から見ていきましょう。植田一平氏が語ってくれている内容は、みなさんにも役立つ内容だと思います。

**21回 BIM にチャレンジしよう!**

加藤 彰  
(株) 日一建設 取締役  
兼 代表取締役

貴社は昨年BIMを導入したばかりで、まだ社内でのBIMが浸透している状況ではありませんが、BIM導入後の課題を聞いてほしいとの依頼を受け、遅れ多く私教を忍んで執筆することになりました。

**BIMを導入した経緯**

2020年コロナ禍の中、文化ホール改修工事の工事進捗を行っていました。工期が進んでいくにつれ、作業員の作業ミスや工期遅延、電気配線の納まりの不具合が生じる所まで至り、設計者、施工者ともに悩まされてきました。その際、協力や審判したのが弊社で行ったのが理由です。その理由で経費を削減する作業プロセスと工期短縮、工期遅延の危険性を防ぐことができた。当初の依頼内容は、BIMが導入されてからは、工事の一時ストップすることになったこと、今後の設計や施工現場において、3DCADによる設計が必要になることへの備忘もございました。

文化ホールの工事開始が一段落したこともあり、今後の建築設計や施工現場の運用方法や若手スタッフへの継承のことなどを考えているうちに、BIMを導入した設計へと進んでいく必要はないとの思いが強くなくなりました。もとより建設には、コンピュータ

会社の導入したソフトが3つもあり、ソフトの統合の必要性を感じていたので、BIM導入を決定し、3つあったソフトをBIMに1体化することにしました。ソフトは、普及しているArchiCADがRevitにしようかと考えましたが、以前は梅井コンピュータアーキテクト(株)の3DCADソフトARCHITREND 21に採用したことがあり、コンピュータ会社からの転移もあって、2021年には梅井コンピュータアーキテクトのGLOOBEを導入しました。

**CADからBIMへの移行に伴う苦勞とGLOOBEの特徴**

小さな建築士事務所が、使用するソフトを変えるということは大変なことです。仕事もしばらくはストップ

7月1日(水) 01:00 日事連の連載記事

30 日事連 2022.11

### 3. 活動報告:

## BIMポータルサイト「BIM GATE」運用開始

BIMの初心者からBIMを活用した業務を展開したい設計技術者、BIMを活用している建築士事務所を探している建築主やインターンシップ先を探している学生など、BIMに関わる幅広い方々を対象としたBIM情報ポータルサイトを制作し、運用を開始した。





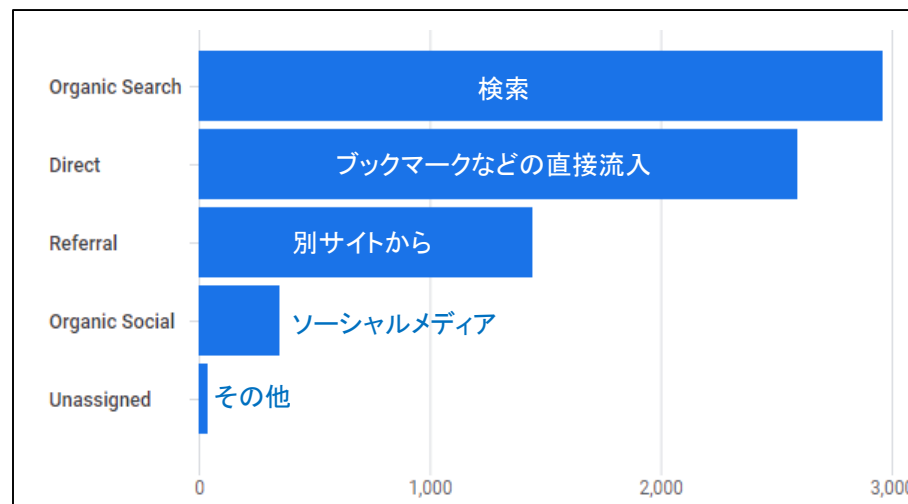
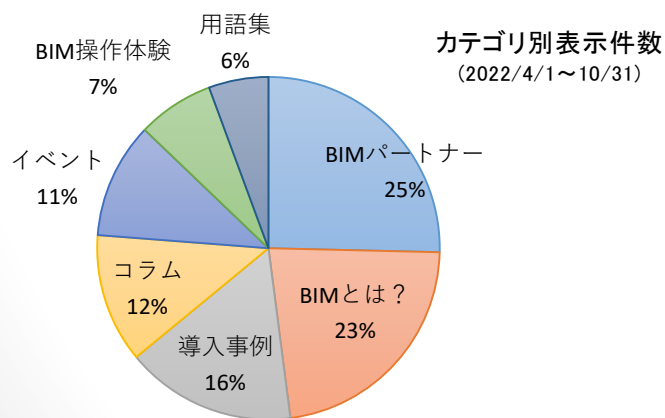
### 3. 活動報告:

## BIMポータルサイト「BIM GATE」 運用開始

### ＜公開後の運用状況＞

- ・BIMパートナー掲載希望事務所を随時更新
- ・会誌「日事連」で連載中のBIM活用事例記事のアーカイブを公開(会誌掲載後一定期間経過したもの)
- ・BIMの普及・促進に繋がると思われる情報をコラム記事として情報提供
- ・BIMコンペやセミナーなどのイベント情報も随時更新

サイトへの流入経路(2022/4/1~10/31)



「BIM GATE」アクセス状況(2022/4/1~2022/10/31): 7,125アクセス